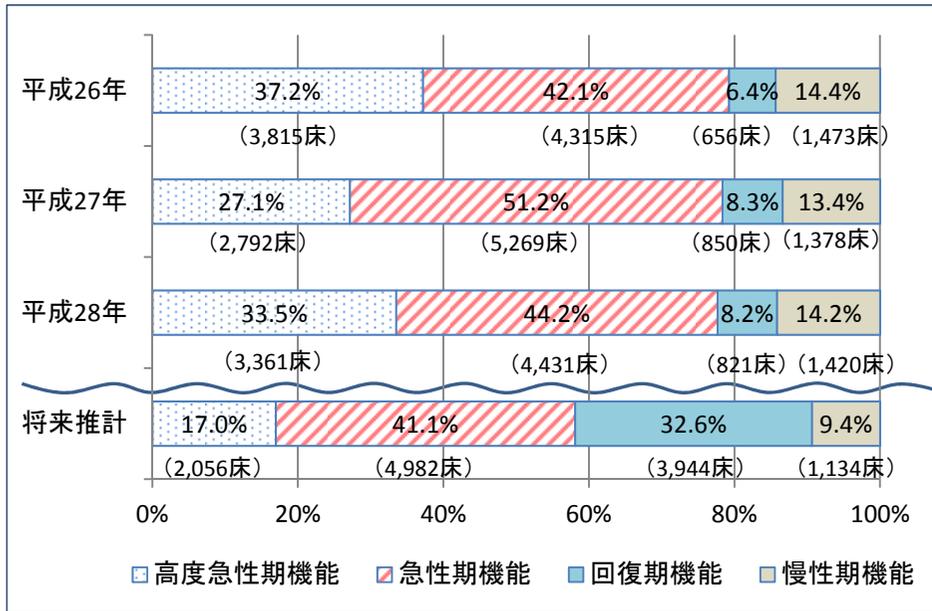
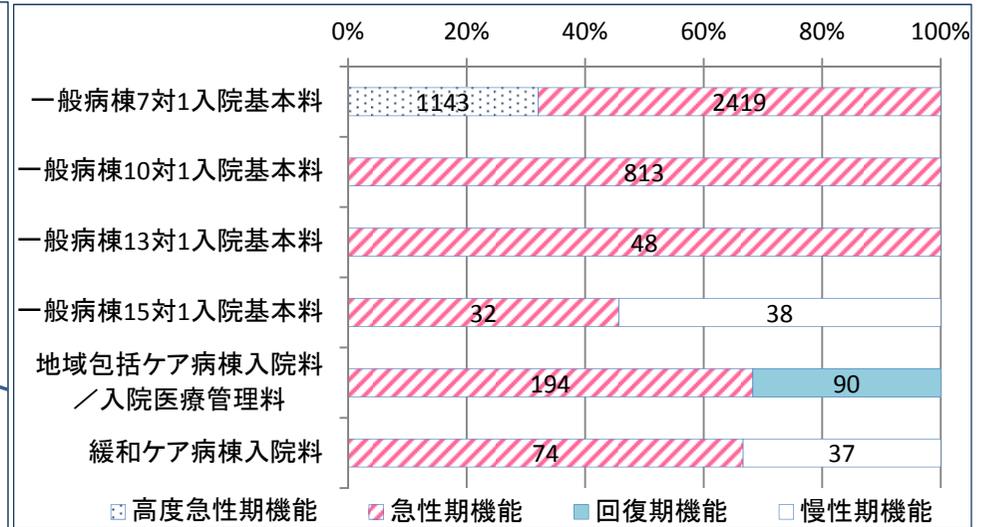


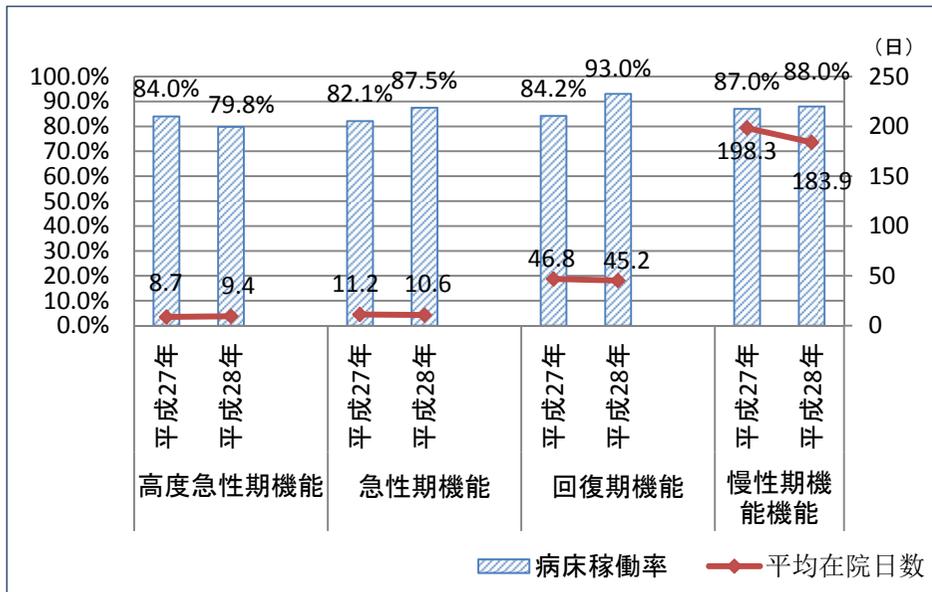
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	5707	179	61	163
急性期機能	7011	73	229	1486
回復期機能	272	8	51	38
慢性期機能	156	4	6	2
	92.9%	2.4%	3.6%	1.2%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 **62.8%**

- ① H27からH28にかけて、高度急性期・急性期機能の報告内容の変動が大きい
- ② 回復期機能において、在院日数が短くなり病床稼働率が上がっている
- ③ 地域包括ケア病棟では、急性期機能として報告された割合が多い
- ③ 緩和ケア病棟では、急性期機能として報告された割合が多い
- ④ 急性期機能において、退院後の在宅医療実施予定が不明という割合が高い
- ④ 慢性期機能において、在宅医療が不要という割合が高い